



学力向上に係る研究授業

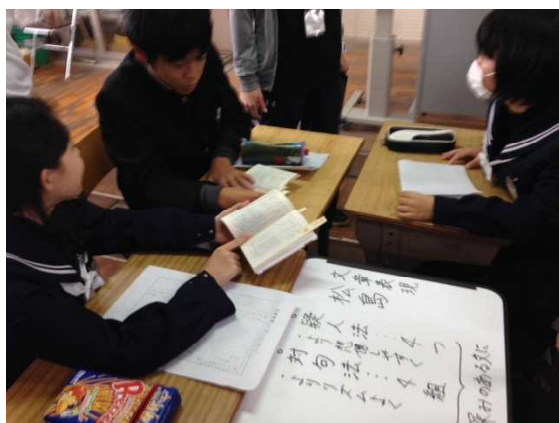
10月31日5限目、柏木英詞教諭による学力向上に係る研究授業が実施されました。この授業には他郡市からの教員も含め40名を超すたくさんの参加がありました。今回の授業では、グループ学習を通して「おくのほそ道」の芸術性が個性あふれる表現で発表されていきました。

本校が課題としている学力向上に向けたグループ学習の重要性を再確認するよい機会となりました。



各グループの発表内容を豊かにするために、他のグループに質問する偵察タイムを取り入れ、芭蕉の思いや芸術性に迫りやすくする工夫が施されていました。生徒たちは、積極的に各グループを回り、非常に意欲的に授業に取り組んでいました。柏木英詞教諭が授業中にも話されていましたが、それぞれのグループが課題を持って質問に回ることが今後の改善点であった。

「偵察タイム」について (5分間)
〈方法〉
①各班原則1人が残り他の人は偵察に行く
②質問をす。聞く。
③残った人は質問に応じる。説明する。
④偵察してきたことを報告し、自分の班の発表に生かす。



研究協議

柏木英詞教諭の授業の後、参観した教員で体育館2階多目的ホールでワークショップ型研究協議を行いました。

- ワークショップ型研究協議の流れ
- ①ワークショップの説明
- ②付箋の記入 良かった点(青) 疑問点(ピンク色)
- ③良かった点、疑問点の共有化
- ④構造化
- ⑤発表



「偵察タイムに課題は残ったが、この手法は子どもたちの学びあい、深めあいを助ける上で非常によく、自分の授業でも取り入れたい。」このような意見が多く聞こえ、構造化の時間を延長しなければならないほど、教員同士が活発に話し合い、今回の授業内容を深め合った。

この研究協議が今後の本校の学力向上に向けての大きな助けとなった。



教育講演会のお知らせ！

(宮前地区子どもを育てる会・東和中学校PTA研修部共催)

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 1 日時 | 平成26年 11月 19日(水)
午後7時30分～午後9時00分 |
| 2 場所 | 東和中学校 体育館2階 多目的ホール |
| 3 演題 | 『ネット社会の子育てと安全』～私たち大人ができること～ |
| 4 講師 | 和歌山大学教育学部 准教授
豊田充崇氏 |

